

NO.25
January 2016

ARIMOTO@ PRESS

information

分析し続ける企業へ

先日、材料原因による加工時の不良が慢性化しているのを受け新潟県工業技術研究所に相談に行ってきました。

材料は入ってくる時期やロットによって規格に定められた範囲内でしか生産出来ず、一定ではありません。これは全てのメーカーに言える事ですので、別段珍しいことではありませんが、塗装をしない又電解仕上である製品は生地自体が製品価値に直結する為、これが管理出来ないという事は仕上りを管理する事が出来ないという事に繋がります。

弊社がお付き合いさせて頂いているメーカー様にはその旨打ち合わせをさせて頂き、材料の質が変化するときには量産前に試作として加工を行い状況確認し、出来る限りの安定を目指しています。しかし、問題となっている材料は特殊な材料供給状態にあり、連携が取れません。

この材料には材料の上に絞り性能を良くする為やキズ等を付けない為のコーティングがかかっているのですが、弊社が絞る高さに対してこのコーティング膜が有効であるかのスペックが届いておらず不良が慢性化している原因に繋がっている可能性があるという見解で一致、分析を行う事に決まりました。

企業は日々何かしらの分析をして当たり前。

人がたくさん集まった集合体が企業ですので、一人一人がナレッジを身につけ、社内でビックバンを起こせるような企業に成長したいと考えています。

プレス加工・その他金属加工全般 / 企画・開発・製造・販売

〒955-0151 新潟県三条市荻堀 1397-74 **AS** 株式会社 有本製作所 TEL:0256-46-3081/FAX:0256-46-3078/URL:<http://www.as-arimoto.co.jp>